

2026年4月27日

2025年度 第三者評価について

北星学園余市高等学校  
PTA 会長 板垣 直哉

はじめに

さまざまな背景を持つ子どもたちを受けとめ、共に歩むことを大切にしている教職員や下宿・寮の皆さまに保護者として感謝を申し上げます。同校が長年培ってきた「寄り添う教育」がどのように実践され、生徒の成長にどのような影響を与えているのかを、第三者の立場から評価をさせていただきました。

#### 1. 教育方針に関して

同校の教育理念は、「人としての成熟と社会的自立をめざす教育」を中心に据え、キリスト教主義に基づく隣人愛・共生・対話を重視している。これらの理念は、現代社会が求める多様性理解、協働性、自己肯定感の育成といった価値と整合しており、教育的意義は高いです。また、理念が抽象的な標語にとどまらず、総合学習、地域連携活動、寮生活など、具体的な教育活動として体系的に位置づけられている点は、教育方針の妥当性を裏付けています。

#### 2. 学習活動に関して

北星学園余市高等学校の学習活動は、多様な生徒の再チャレンジを支える教育理念に基づき、個別性を尊重した学びの場を提供している点で高く評価できます。特に、学習ブランクを抱える生徒への配慮や体験的学習や寮生活を通じた「人間的成長」を重視する教育実践は、他校には見られない独自性を持つと思います。

#### 3. 進路指導に関して

進路の多様性が確保されており、生徒の興味関心に応じた進路選択が実現している。特に、大学進学においては道内外の幅広い大学へ進学しており、指定校推薦枠の活用が効果的に行われていて、保護者との連携も適切であり問題はないと思われます。

#### 4. 生活指導について

学校・寮生活・地域とのかかわりが一体化され生徒を支援する体制が高く評価できます。特に職員室が「サロン」のように開かれており、生徒が自由に相談できる環境が整備されており、先生と生徒の距離が近く信頼関係を重視した対話的指導が行われている点や、複数の教員で対応をして担任の負担を分散する仕組みがある。

#### 5. 地域との連携に関して

外部講師を招く総合講座やボランティア清掃など地域社会と学校が相互に支え合う「共育（ともいく）」の関係として評価ができます。

#### 6. おわりに

多様な背景を持つ生徒の再チャレンジを支える教育を実践する学校ですので、そういう子どもたちの受け皿として末永く続けていただきたいです。常日頃から日本全国での教育相談会の開催や SNS などで学校の PR 活動を行っておりますが、生徒数を確保できなければ廃校問題に繋がっていきます。未来の北星余市の子ども達のためにも存続をしていただきたいと思います。

子どもたちは勿論のこと、保護者にとっても母校です。卒業生の保護者として協力できることがあれば是非相談をしていただきたいと思います。

以上